

科目名	特別講座 1							年度	2025
英語科目名	Special Lecture 1							学期	前期
学科・学年	情報ビジネス科 1年次	必／選	選	時間数	15	単位数		種別※	
担当教員	井上		教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア	
【科目の目的】 この科目の目的は、外部講師である業界のプロフェッショナルから最新の社会動向や業界動向について聴講し、学生の見識を広めることです。業界の専門知識や経験を通じて学生の視野を拡大し、社会におけるトレンドや課題についての理解を深めることを目指します。									
【科目の概要】 この科目では、外部講師を招いて最新の社会動向や業界動向に関する講義を行います。業界の専門家やプロフェッショナルが学生に対して現状や将来の展望について説明し、インサイトを提供します。学生は講義内容を理解し、ディスカッションや質疑応答を通じて自分の見解を深めます。									
【到達目標】 講座内容の理解と活用 見識の拡充と知識向上 講座内容の質と深さ 講座内容の伝達と表現力 参加と積極的な関与									
【授業の注意点】 本講義では学生が主体的に学習する姿勢を重視する。具体的には事前調査の精度、外部講師への積極的な質問、関わりを評価する。聴講後のレポートには、聴講内容を羅列するだけではなく、自らの考えや新たに学習した事柄について調査した結果等を記載することを求める。講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。講義に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	聴講した講座内容を深く理解し、それを実際の社会動向や学習に活かす	聴講した講座内容を理解し、実際の社会動向や学習に活かす	聴講した講座内容を基本的に理解し、一般的な知識を得る	聴講した講座内容の理解に課題があり、実際の社会動向や学習への活用が限定的である	聴講した講座内容の理解が不足しており、実際の社会動向や学習への活用が不十分である				
到達目標 B	講師の専門知識や経験を通じて、自身の見識を広げ、新たな知識を獲得する	講師の専門知識や経験により見識を広げ、新たな知識を得る	講師の専門知識や経験を通じて一部見識を広げ、知識を得る	講師の専門知識や経験において課題があり、見識の拡充や新たな知識の獲得が限定的である	講師の専門知識や経験の影響が限定的であり、見識の拡充や新たな知識の獲得が不十分である				
到達目標 C	聴講した講座内容を適切に理解し、深い洞察や分析を含む質の高い理解を示す	聴講した講座内容を理解し、適切な洞察や分析を含む理解を示す	聴講した講座内容を基本的に理解し、一部洞察や分析を含む理解を示す	講座内容の質や深さに課題があり、内容の整理や洞察、分析が不足している	講座内容の質や深さが不十分であり、内容の整理や洞察、分析が欠如している				
到達目標 D	聴講した講座内容を適切に他者に伝え、クリアで明確な表現力を示す	聴講した講座内容を他者に伝え、明確な表現力を示す	聴講した講座内容を一部他者に伝え、基本的な表現力を示す	講座内容の伝達や表現力に課題があり、他者に対して適切に講座内容を伝えられない場合がある	講座内容の伝達や表現力が不十分であり、他者に対して講座内容を適切に伝えることが困難な場合がある				
到達目標 E	講座中に積極的に質問や意見を述べ、講座への参加が活発である	講座中に質問や意見を述べ、講座への参加が積極的である	講座中に一部質問や意見を述べ、講座への参加が適度である	講座中に参加や積極的な関与に課題があり、講座への参加が限定的である	講座中に参加や積極的な関与が不足しており、講座への参加が不十分である				
【教科書】									
【参考資料】									
事前に研修先情報として、資料を配布									
【成績の評価方法・評価基準】									
レポート	70%	授業内容の理解度を確認するために実施する							
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する							
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		特別講座 1			年度	2025	
英語表記		Special Lecture 1			学期		
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	特別講座の導入と目標設定	特別講座の目的と学びの期待を明確にする	1	特別講座の概要	特別講座の概要を理解している	3	
			2	学びの重要性	業界プロフェッショナルからの学びの重要性を理解している		
			3				
2	外部講師の紹介とテーマ選定	外部講師の紹介と講義テーマの選定方法を学ぶ	1	講師の紹介	講師について理解している	3	
			2	講義テーマ(1)	講義テーマを選定できる		
			3				
3	外部講師からの講義 1	外部講師からの講義を通じて新たな知識を得る	1	講義(1)	講義の内容を理解している	3	
			2	質疑応答(1)	講師の講義に質問ができる		
			3				
4	講義 1 の振り返りとディスカッション	講義内容を振り返り、ディスカッションを通じて深化させる	1	要点整理(1)	講義内容の要点整理ができる	3	
			2	ディスカッション(1)	グループディスカッションで他人と要点の共有ができる		
			3				
5	外部講師からの講義 2	外部講師からの講義を通じて新たな知識を得る	1	講義(2)	講義の内容を理解している	3	
			2	質疑応答(2)	講師の講義に質問ができる		
			3				
6	講義2の振り返りとディスカッション	講義内容を振り返り、ディスカッションを通じて深化させる	1	要点整理(2)	講義内容の要点整理ができる	3	
			2	ディスカッション(2)	グループディスカッションで他人と要点の共有ができる		
			3				
7	講義内容の総括とテーマ選定	講義内容を総括し、次の講義テーマを選定する	1	総括(1)	講義内容の総括ができる	3	
			2	講義テーマ(2)	講義テーマの選定ができる		
			3				
8	外部講師からの講義 3	外部講師からの講義を通じて新たな知識を得る	1	講義(3)	講義の内容を理解している	3	
			2	質疑応答(3)	講師の講義に質問ができる		
			3				
9	講義 3 の振り返りとディスカッション	講義内容を振り返り、ディスカッションを通じて深化させる	1	要点整理(3)	講義内容の要点整理ができる	3	
			2	ディスカッション(3)	グループディスカッションで他人と要点の共有ができる		
			3				
10	講義内容の総括とテーマ選定	講義内容を総括し、次の講義テーマを選定する	1	総括(2)	講義内容の総括ができる	3	
			2	講義テーマ(3)	講義テーマの選定ができる		
			3				
11	外部講師からの講義 4	外部講師からの講義を通じて新たな知識を得る	1	講義(4)	講義の内容を理解している	3	
			2	質疑応答(4)	講師の講義に質問ができる		
			3				
12	講義 4 の振り返りとディスカッション	講義内容を振り返り、ディスカッションを通じて深化させる	1	要点整理(4)	講義内容の要点整理ができる	3	
			2	ディスカッション(4)	グループディスカッションで他人と要点の共有ができる		
			3				
13	講義内容の総括とテーマ選定	講義内容を総括し、次の講義テーマを選定する	1	総括(3)	講義内容の総括ができる	3	
			2	講義テーマ(4)	講義テーマの選定ができる		
			3				
14	講師からの質疑応答と総合ディスカッション	講師に質問し、総合的なディスカッションを行う	1	質疑応答(5)	講師に質問ができる	3	
			2	ディスカッション(5)	総合的なディスカッションができる		
			3				
15	特別講座の総括と成果発表	特別講座全体を総括し、学びの成果を発表する	1	振り返り	特別講座の振り返りができる	3	
			2	成果発表	特別講座の成果を発表できる		
			3				
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							